

女性研究者研究活動支援事業（拠点型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：岩手大学（総括責任者：岩淵 明）

プロジェクトの概要

(1) 体制及び活動内容

「いわての復興に貢献する女性研究者支援」をテーマに、男女共同参画推進委員会が重要事項を審議し、男女共同参画推進室が普及対象機関と連携体制を構築して、女性研究者の研究活動や採用定着の向上を目指す。具体的には、岩手大学が拠点となり、①研究力向上支援セミナー等、開催と女性研究者ネットワークの構築促進、②環境整備として、ワーク・ライフ・バランスやキャリアパス構築の相談・支援、③意識改革として、シンポジウムや管理職セミナーの開催、④学内における研究支援者の配置、応募促進支援等を行う。

(2) 普及対象となる機関

岩手県立大学、岩手医科大学、一関工業高等専門学校、八戸工業高等専門学校、岩手県内の研究機関（地方独立行政法人岩手県工業技術センター、公益財団法人岩手生物学研究センター、岩手県環境保健研究センター、岩手県農業研究センター、岩手県食肉衛生検査所）

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
S	s	s	a	s	a

総合評価：S（所期の計画を越えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

岩手県の地域特性を踏まえた女性研究者支援のための強固なネットワークが構築され、女性研究者のニーズに基づき、連携した取組が推進された点は、高く評価できる。さらに、実施機関は、女性研究者の採用比率、在籍比率、上位職登用等、所期の全ての目標を達成し、また、連携機関は、女性研究者支援体制を整備するとともに、実施機関のポジティブ・アクションを取り入れ、女性研究者比率を上昇させており、女性研究者の採用において、地理的に不利な条件を克服し、成果を上げたことは、高く評価できる。

- **目標達成度**：実施機関において、女性研究者の採用比率、在籍比率、上位職登用等、所期の目標を実施期間内に全て達成し、また、連携機関においても、連携体制の確立、工業高等専門学校における女性研究者の採用促進等の目標を全て達成したことは、高く評価できる。
- **取組**：上位の職位で公募することが女性教員の採用に効果的と見込まれる場合に、上位の職位で女性限定教員公募を実施できるよう支援する「One-Up 公募制度」といった特色ある取組を継続するとともに、産前・産後休暇取得支援制度や病児・病後児保育支援制度を新たに構築し、研究環境整備を順調に進めたこと、共同研究支援により女性研究者の研究業績を向上させたこと、さらには、実施機関で行ったポジティブ・アクションの取組が連携機関に普及し、女性限

定公募・優先公募が実施され、女性教員の積極的な採用に繋がったことは、高く評価できる。

- **取組の成果**：学長ポスト枠を活用した女性限定公募の運用により、上位職 14 名を含む女性研究者 18 名を採用し、理工学部初の女性教授、機関初の女性理事の誕生につなげた。さらに、連携機関への波及効果として、連携機関全体の女性研究者比率が向上しており、評価できる。
- **実施体制**：実施機関の学長の強いリーダーシップの下、副学長が室長を務める男女共同参画室が中心となり、全学的な実施体制を構築するとともに、北東北地域や岩手地域の連携機関が参画する連携推進会議を設置し、連携機関相互にきめ細かく連絡・調整して取組を進める実効的な体制を構築したことは、高く評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後も継続して取組を進めるため、連携機関を含めた新たな「いわて女性研究者支援ネットワーク」を創設し、今後の取組継続に向けた新体制を確立したことは評価できる。さらに、中長期的な計画を具体的に掲げ、十分な自主経費を確保しつつ、取組を進めていることも評価できる。